

2023 年度 卒業論文発表会



2024.1.12 (Fri.) 9:00~10:50

13 (Sat.) 10:00~11:25

於 中央大学杉並高等学校

中央大学杉並高等学校では、3年生になると全員がそれぞれ設定したテーマに沿って1年間かけて追究を重ね、6000字以上の「卒業論文」としてまとめます。

今年度も、3年生 312名全員が卒業論文を執筆しました。

今回の「卒論発表会」では、2日間にわたり、グループ発表形式・分科会形式・全体発表会形式の発表会を開催いたします。

おのおのが答えのない課題に向かい、試行錯誤し、自分なりに導き出した結論を紹介します。12日の分科会形式においては大学で学びを究める卒業生がコメンテーターを務めます。13日の全体発表会においては、卒業生も研究の成果を発表いたします。卒業後も続いてゆく“中杉生”の学びの道をどうぞご覧ください。

1月12日(金)

9:00~9:50 グループ発表

異なるクラス・異なるテーマの生徒が集まり、
4名1組のグループになって卒業論文を紹介し合います。
(発表7分、感想発表や質疑応答3分×4名)



会場	班	組	卒論題目	副題	ジャンル1
3の1 36人	1	1	東ティモールのトイレ問題	NGO等の各機関の援助体系の変化	国際理解・国際支援
	1	2	学校給食で大切なこと	食物アレルギーの観点から	教育
	1	3	上杉謙信は義を重んじる人物であるか	1560年の関東出兵から	作品分析(文字作品、マンガ、アニメ、TVドラマ、映画等)
	1	4	日本の農業における人手不足の解消に向けて	就農希望者に対する支援方法の観点から	少子高齢化対策
	2	5	ネットいじめ対策	心理社会的要因の観点から	教育
	2	6	情報社会におけるマーケティング	フルーツ開通商社のファンベースの観点による分析	経済・ビジネス・企業のあり方
	2	7	高齢者の再犯率を下げるには	QOLの観点から考える	医療、社会福祉
	2	8	名探偵コナンの魅力	完全無欠ではないヒーロー	作品分析(文字作品、マンガ、アニメ、TVドラマ、映画等)
	3	9	空飛ぶクルマの可能性	2次元と3次元の融合	AI・テクノロジー
	3	1	AIDSと言葉シオンの関係性	フレディ・マーキュリーとエルトン・ジョンからみるAIDS	作品分析(文字作品、マンガ、アニメ、TVドラマ、映画等)
	3	2	利益団体が政策決定に与える影響	公平な政治の在り方から考える	行政(国政、地方自治等)
	3	5	MRJプロジェクトが失敗した要因について	型式証明と自前主義	国際理解・国際支援
	4	4	より多くの人にプレイパークを利用してもらうためには	NPO法人の取り組みから	少子高齢化対策
	4	5	野球人口減少への対策	単純接触効果と地方の活性化の観点から	スポーツ
	4	6	東ティモールにおける言語の多様性	歴史学と地理学による分析と英語との比較から分析する	異文化理解・多様性社会を考える
	4	7	『トイ・ストーリー4』論	アイデンティティの観点より	作品分析(文字作品、マンガ、アニメ、TVドラマ、映画等)
	5	8	21世紀の日本における都市の在り方	建築家の理念と災害復興に見る複合的な開発の必要性	行政(国政、地方自治等)
	5	9	学校でのいじめの課題と解決策	いじめを未然に防ぐために教育者ができること	教育
	5	1	地方財政の問題点	ふるさと納税による格差の広がり	貧困対策、格差対策
	5	2	『赤毛のアン』における対人関係の形	「交流分析」の観点から	作品分析(文字作品、マンガ、アニメ、TVドラマ、映画等)
	6	4	小学校における平等な評価の実施	～見取りと点検による平等な評価をするために～	教育
	6	9	チェーン店の利益と課題	経済的な効果と構造から考える	経済・ビジネス・企業のあり方
	6	6	「まちづくりの観点から考える 新宿区と渋谷区のジェンダーレストイレによる影響の違いについて	まちづくりの構造模式図・手法の構造から	異文化理解・多様性社会を考える
	6	7	「なにわ男子」論	ジャニーズの新しいアイドル像	エンターテインメント(ゲーム等)
	7	3	「長靴をはいた猫」論	仕事の意味と意義の観点から	作品分析(文字作品、マンガ、アニメ、TVドラマ、映画等)
	7	8	意思決定支援AIが創る生活	生活の中で的人工知能の活躍と	AI・テクノロジー
	7	3	メンズメイク需要をより高めるために	明治天皇の御真影から考える	異文化理解・多様性社会を考える
	7	1	「オタク」による経済効果	「オタク」のイメージの変容による影響	経済・ビジネス・企業のあり方
8	4	持続可能なまちづくり	コンパクトシティの観点から	行政(国政、地方自治等)	
9	9	アフリカの農業に学ぶ国際協力	アフリカが多くの国々から国際協力	医療、社会福祉	

※ご来校者にはすべてのリストが載ったプログラムをお渡しいたします

10:00～10:50 分科会発表

教育や多文化共生など、同じテーマで卒論に取り組んだ生徒が集まり、代表者4名が卒業論文を紹介します。

(発表7分、感想発表や質疑応答3分×4名)

その分野に詳しい卒業生をゲストに迎え、論文へのコメントを頂きます。



【テーマ】環境問題への取り組み

【ゲスト】中央大学経済学部4年 丸山さん

【会場】3の1

発表者	タイトル	サブタイトル
①	食品ロス削減に向けた消費者啓発のための取り組み	動機づけの観点から見るフードシェアリングアプリの現状と展望
②	コメの消費拡大に向けて	共感と動機から考えるエシカル消費
③	21世紀の日本における都市の在り方	建築家の理念と災害復興に見る複合的な開発の必要性
④	エコカーの社会的費用	自動車交通のあるべき姿

【テーマ】AIとエンターテインメント

【ゲスト】電気通信大学I類3年 前田さん

【会場】3の2

発表者	タイトル	サブタイトル
①	推しを推す私が好き	推しの存在を介した緩いつながり
②	ジャニーズコンサートのチケット転売を減らすには	本人確認保障レベルの観点から
③	生成AIのアーティスト模倣について	返報性と社会的証明の利用
④	空飛ぶクルマの可能性	2次元と3次元の融合

【テーマ】メディア分析

【ゲスト】上智大学国際教養学部4年 稗田さん

【会場】3の3

発表者	タイトル	サブタイトル
①	ブランドの形成における商品価値	ポカリスエットのコマーシャルから
②	戦争映画における暴力シーンの意義と視聴者に与える影響	感動に至るメカニズムの分析
③	人を動かすキャッチコピーの力	頭と心に働きかける広告のコミュニケーション
④	JKとトレンド	常にカワイイをアップデートしていくために

【テーマ】異文化理解／多様性社会**【ゲスト】中央大学総合政策学部4年 中村さん****【会場】3の4**

発表者	タイトル	サブタイトル
①	日本舞踊石井流の現状と展望	現在の日本舞踊界の問題点を用いて考える
②	多様性の時代と人形のあり方	リカちゃん人形とバービー人形から
③	まちづくりの観点から考える—新宿区と渋谷区のジェンダーレストイレによる影響の違いについて	まちづくりの構造模式図・手法の構造から
④	ウクライナ侵攻	歴史から見るウクライナとプーチン氏の野望

【テーマ】医療・社会福祉**【ゲスト】立教大学現代心理学部4年 氏家さん****【会場】3の5**

発表者	タイトル	サブタイトル
①	精神科医療に生じる情報の非対称性	光トポグラフィー検査からみる解決策
②	訪問介護士・訪問看護師間の情報共有の円滑化	「尾道方式」成功要件の観点から
③	認知症の人の日常を豊かにするためには	認知症カフェから考える
④	若い世代を団地に誘致する	団地リノベーションにおける間取りのワンルーム化による空間の用途

【テーマ】スポーツ・健康福祉**【ゲスト】中央大学国際情報学部4年 富島さん****【会場】3の6**

発表者	タイトル	サブタイトル
①	HPV ワクチンの接種率向上のために	アイルランドの取り組みから見る母親への啓発活動の必要性
②	投手が長く活躍するためには	データ分析から考える怪我予防
③	若年層の献血協力者増加のための考察	「ナッジ」の観点から
④	日本のプロ野球のストライク・ボール判定におけるAI導入	他のスポーツに使われるAIとプロ野球の現行制度から考える

【テーマ】教育①（主に初等教育）**【ゲスト】埼玉大学教育学部4年 菊田さん****【会場】3の7**

発表者	タイトル	サブタイトル
①	学校給食で大切なこと	食物アレルギーの観点から
②	コミュニティ・スクールの普及と効果	地域による教育活動への参画
③	現代人の虫嫌いとは幼少期における自然教育	バットリニックという可能性
④	小学校における環境教育の在り方	エコツーリズムの観点から環境教育の可能性を考える

【テーマ】教育②（主に中等教育）**【ゲスト】東京理科大学理学部4年 佐野さん****【会場】2の4**

発表者	タイトル	サブタイトル
①	「若者の読書離れ」は本当に起きているのか	行政の取り組みと日本人論から考える
②	学校教育模擬裁判の今後の展開	裁判員の心理的負担軽減策としての新たなタイムスケジュールの提案
③	中杉サッカー部のまとめ役の在り方と今後の成長方法の考察	高校サッカーにおける理想の組織像
④	「日本人論」から考えるコミュニカティブ・アプローチ	外国人とのリアルタイム文字チャットの提案

【テーマ】作品分析①**【ゲスト】中央大学文学部4年 青木さん****【会場】多目的2**

発表者	タイトル	サブタイトル
①	Aikoの歌詞分析	形容詞からみる恋愛ソング
②	「Men in Black」論	生かす権力と殺す権力
③	児童文学作品の翻訳とオノマトペ	石井桃子訳『クマのプーさん』を例に
④	ポストモダンの正義	ヒーローの敵は悪だけか

【テーマ】作品分析②**【ゲスト】中央大学文学部4年 工藤さん****【会場】3の8**

発表者	タイトル	サブタイトル
①	AIDSと音楽シーンの関係性	フレディ・マーキュリーとエルトン・ジョンからみるAIDS
②	朝ドラにおけるアンコンシャス・バイアスの表現	朝ドラ「あさが来た」と「カムカムエヴリバディ」から考えるアンコンシャス・バイアス
③	「許し」の観点から考える「宗介」と「杏奈」の成長	ジブリ映画に描かれる子供達
④	『トイ・ストーリー4』論	アイデンティティの観点より

【テーマ】作品分析③**【ゲスト】中央大学国際経営学部4年 宮原さん****【会場】3の9**

発表者	タイトル	サブタイトル
①	湊かなえ『告白』論	自己愛と依存が招いた悲劇の連鎖
②	「よだかの星」受容史	挿絵の比較分析を通して
③	太宰治「女生徒」論	「シスターフッド」の観点から
④	『桐島、部活やめるってよ』桐島不在の意味するもの	スクールカースト内での信仰対象という位置づけ

【テーマ】 経済・企業のあり方①**【ゲスト】 中央大学商学部 4年 姫野さん****【会場】 2の5**

発表者	タイトル	サブタイトル
①	富士山静岡空港の活性化	SWOT 分析から考える
②	情報社会におけるマーケティング	フルーツ関連商社のファンベースの観点による分析
③	有機農産物の需要拡大を目指して	「高付加価値化」と「農業バリューチェーン」の観点から
④	中国化する独立国家香港	内側から見る国際色豊かな香港の経済発展

【テーマ】 経済・企業のあり方②**【ゲスト】 中央大学法学部 4年 石田さん****【会場】 2の6**

発表者	タイトル	サブタイトル
①	パークイノベーションの課題	「稼ぎすぎない公園」とは
②	リテールブランドのブランド戦略考察	無印良品と LUSH を中心に
③	富裕層の租税回避を防ぐ	OECD による国際課税原則見直しの側面から
④	持続可能なパーム油認証制度の運用と課題	社会的費用とサプライチェーンの動向からの考察

【テーマ】 少子高齢化対策**【ゲスト】 中央大学文学部 3年 鈴木さん****【会場】 2の7**

発表者	タイトル	サブタイトル
①	高齢ドライバーによる運転事故を減らすための取り組み	人の思い込み「認知的バイアス」の観点から読み解く
②	小学校における平等な評価の実施	見取りと点検による平等な評価をするために
③	閉じこもり高齢者のウェルビーイングをどう高めるか	ポジティブ心理学の観点からの考察
④	「子育て支援」による少子化対策	ソーシャルサポートと基本保育制度の視点から

【テーマ】 地方創生**【ゲスト】 中央大学法学部 4年 手塚さん****【会場】 2の8**

発表者	タイトル	サブタイトル
①	東日本大震災の復興事業	被災者目線から女川町の高上げ対策を評価する
②	奄美大島におけるロードキル減少のための政策	心理学の観点から見るロードキル対策の現状と展望
③	運転免許返納への動機付け	「ロールガバナンス」と「目標フレーミング」の観点から
④	地方における公共交通の現状と展望	新しい交通システムから考えるまちづくり

【テーマ】 観光**【ゲスト】 中央大学法学部 2年 榎木さん****【会場】 多目的 4**

発表者	タイトル	サブタイトル
①	備中神楽の伝承	中国地方の事例と聞き取り調査から
②	岩手県陸前高田市の観光客数を100万人台で推移させるために	「ダークツーリズム」と「復興ツーリズム」の観点から
③	佐賀県の観光産業とコンテンツツーリズム	TVアニメーション「ゾンビランドサガ」との相乗効果
④	テクノスケープの発展	コンバージョンによる可能性

【テーマ】 行政の取り組み**【ゲスト】 中央大学法学部 3年 萩生田さん****【会場】 視聴覚（4階）**

発表者	タイトル	サブタイトル
①	「加害者の子ども」の今後の支援の可能性について考える	法学的な観点から
②	児童虐待の防止の現状と啓発の提案	スウェーデンの啓発キャンペーンに学ぶ
③	踏切の横断の違反を減らすには	こころの二側面から考える効果的な対策の傾向とは
④	市民と共に建てた図書館	市民参加の観点からみた図書館設立

※ご来校者にはこれらの卒業論文が期間限定で閲覧できるドライブの URL をお伝えいたします

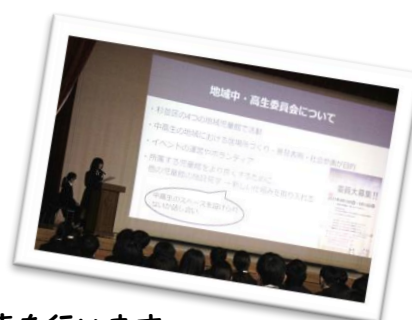
1月13日（土）

10:00～11:25 全体発表

卒業論文の優秀作品の発表、探究系コンテストの入賞作品の発表、そして大学生2名の研究発表・活動発表を行います。

（発表10分、感想発表や質疑応答5分×5名）

会場は第一体育館です。詳細は次頁をご覧ください。



【1月13日 時程】

発表① 10:00～10:15	「高校ボート部員の有酸素能力の向上 ～2000m 心拍数によるエルゴ管理～」(卒業論文優秀作品) 発表者 豊島 俊介さん(5組)
発表② 10:15～10:30	「絵本『くまのがっこう』における直接性の演出」 (日本語学会主催「第2回中高生日本語研究コンテスト」優秀賞受賞作品) https://www.junior-jpling.org/ 発表者 寺田 穂乃香さん(4組)
発表③ 10:40～10:55	「大都市に住む人の移住促進に必要な事は何か」 (3大学共催「データサイエンス・アイデアコンテスト」アイデア賞受賞作品) https://www.chuo-u.ac.jp/aboutus/efforts/ai_and_ds/news/2023/10/68515/ 発表者 小林 琉斗さん(8組)
発表④ 10:55～11:10	「居場所づくり・学習支援団体の設立と運営に関する報告 ～はじまりの場所での活動を通して～」 発表者 中大文学部4年 工藤 千愛さん(本校55期生)
発表⑤ 11:10～11:25	「我が国における DX 推進に関する政策提言 ～業種区分と GX からみる DX 取り組み状況のアプローチと EBPM～」 発表者 中大国際情報学部4年 富島 悠介さん(本校55期生)

【卒業生ゲスト紹介】

工藤 千愛さん (中央大学文学部国文学専攻4年)

中世ゼミに所属、卒業論文では『平家物語』鬼界島流人譚と能の関係性について、特に宗教的な側面に着目しながら考察を行った。4月から中大大学院に進学し、都内私立中高の国語科講師として教壇に立つ予定。

コロナ禍のさなかに起ち上げた小中学生の居場所づくり・学習支援を行う「はじまりの場所」は、現在 練馬区福祉課や大和証券財団の助成を受け、地域に根付く団体に大きく成長しました。今回は、この団体設立のあゆみをご報告させていただきます。



練馬区長と対談する工藤さん(大きい写真の右から2人目)

富島 悠介さん (中央大学国際情報学部国際情報学科4年)



学生奨励賞を受賞した富島さん

国際情報学部2期生。課外活動「iITL AI研究会」代表、「Google Developer Student Clubs Chuo」発起人。AIとその社会的課題について追究している。

2022年に開かれた情報処理学会第84回全国大会で「顔認証システムの倫理的課題に—人工知能とバイアス」を発表し、学生奨励賞を受賞。同年、社会情報学会で「共起ネットワーク分析を用いた AI 倫理文書の比較研究 -OECD, EU, 内閣府との比較から見るユネスコ AI 倫理勧告の特徴-」の発表も行う。アクセントチュア株式会社に内定。今回、4万字を超える卒業論文の内容をご紹介します。